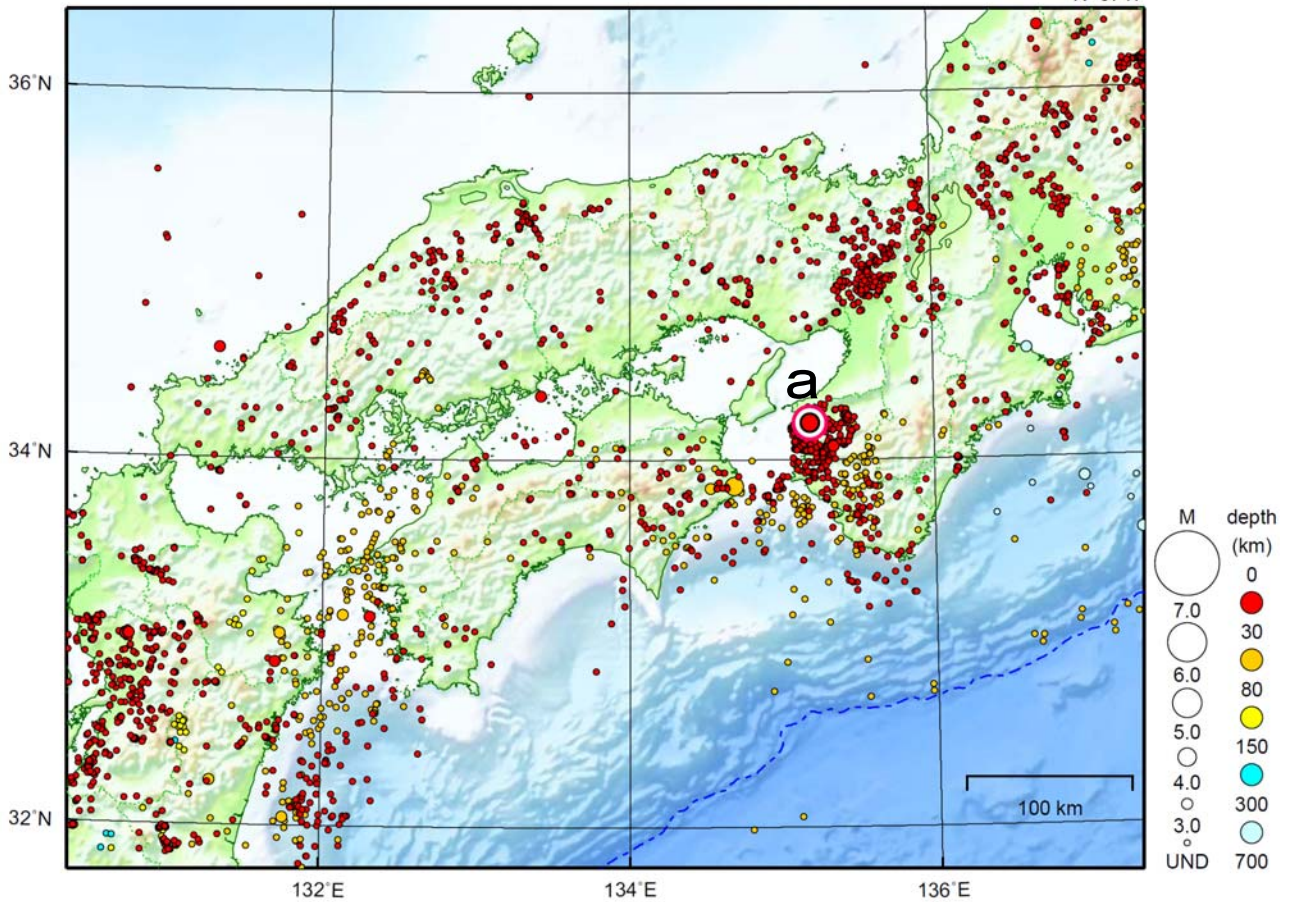


近畿・中国・四国地方

2011/05/01 00:00 ~ 2011/05/31 24:00

N=3717



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

a) 5月10日に和歌山県北部でM4.2の地震（最大震度4）が発生した。

(上記期間外)

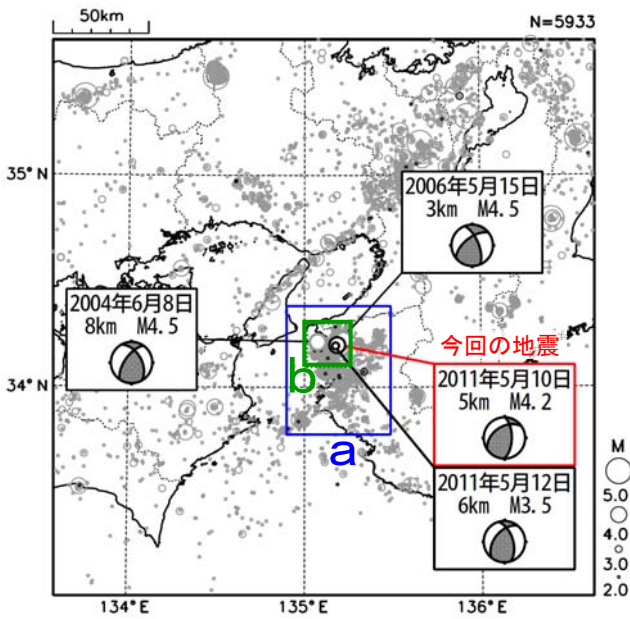
6月4日に島根県東部でM5.2の地震（最大震度4）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

5月10日 和歌山県北部の地震

震央分布図 (1997年10月1日~2011年5月31日、
深さ0~20km、 $M \geq 2.0$)

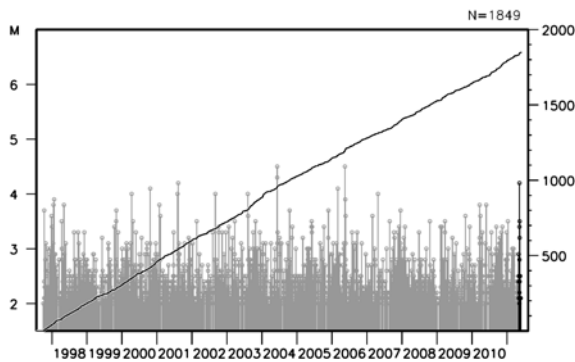
2011年5月以降に発生した地震を濃く表示



2011年5月10日23時01分に和歌山県北部の深さ5kmでM4.2の地震(最大震度4)が発生した。この地震の発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。この地震は地殻内で発生した。今回の地震の震源付近(領域b)では、5月12日02時46分にも深さ6kmでM3.5の地震が発生し、最大震度3を観測した。この地震の発震機構は、東西方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。

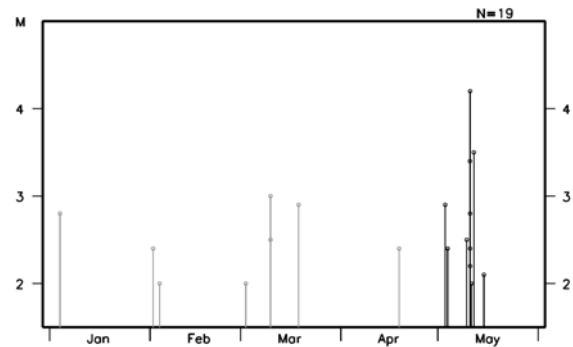
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺(領域a)では、定常的な地震活動があり、しばしばM4.0前後の地震が発生している。このうち、2006年5月15日のM4.5の地震(最大震度4)では、負傷者1人、ブロック塀倒壊1件、ガラス破損2件の被害を生じた(総務省消防庁による)。

領域a内の地震活動経過図及び回数積算図



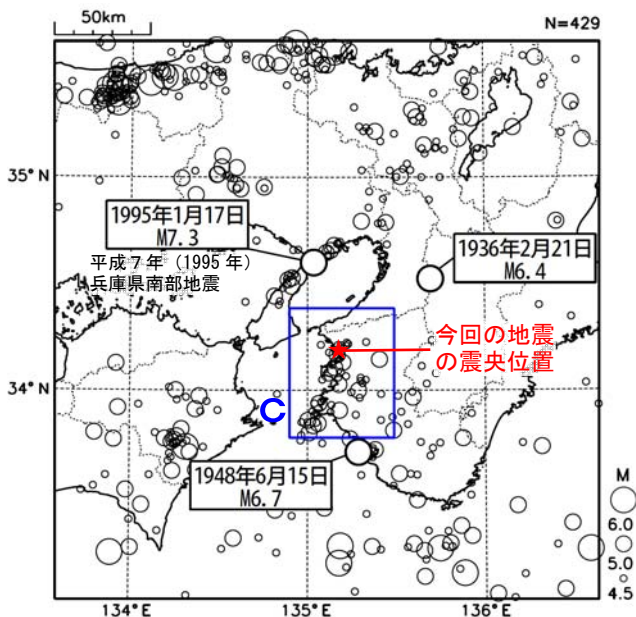
領域b内の地震活動経過図

(2011年1月1日~2011年5月31日)



震央分布図

(1923年8月1日~2011年5月31日、
深さ0~30km、 $M \geq 4.5$)



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では時々M5.0を超える地震が発生している。

また、少し離れたところではM6.0を超える地震も発生しており、このうち平成7年(1995年)兵庫県南部地震(最大震度7)では、死者・行方不明者6,437人、負傷者43,792人などの被害を生じた(総務省消防庁による)。

領域c内の地震活動経過図

